



介護向け

車いす付き電動自転車

キャリオ技研

キャリオ技研（名古屋市中村区、富田茂社長、052・627・0495）は、油圧機器メーカーのKYBと共同

で、2人乗りの電動自転車（写真）を開発した。搭載するリチウムイオン電池は約10分で急速充電が完了し、完全

と乗り心地の良さを確保した。自転車部分に運転者が乗って操作する。最大積載量は160kg。

電動モード時は9km/h、アシストモード時は50km/h走行できる。最高速度は時速6km/hで車両登録などは必要ない。今後KYBが量産品の開発を進める。

自転車前部に車いすをつなげた形が特徴。前輪はKYBの緩衝器付きキャスタユニットを含め4輪とし、安定性

同社が相互連携協定を結ぶ岐阜県御嵩町で26日に一般公開し、同町は観光用などでの活用を検討する。またKYBは電動化の強化や耐久性評価、市場調査を進め、1台20万円での量産を目指す。観光地やショッピングセンター、介護現場での利用を見込む。

（岐阜）